

『札幌市バリアフリー 基本構想2022』 説明資料

令和4年(2022年)8月8日

札幌市まちづくり政策局総合交通計画部
交通計画課

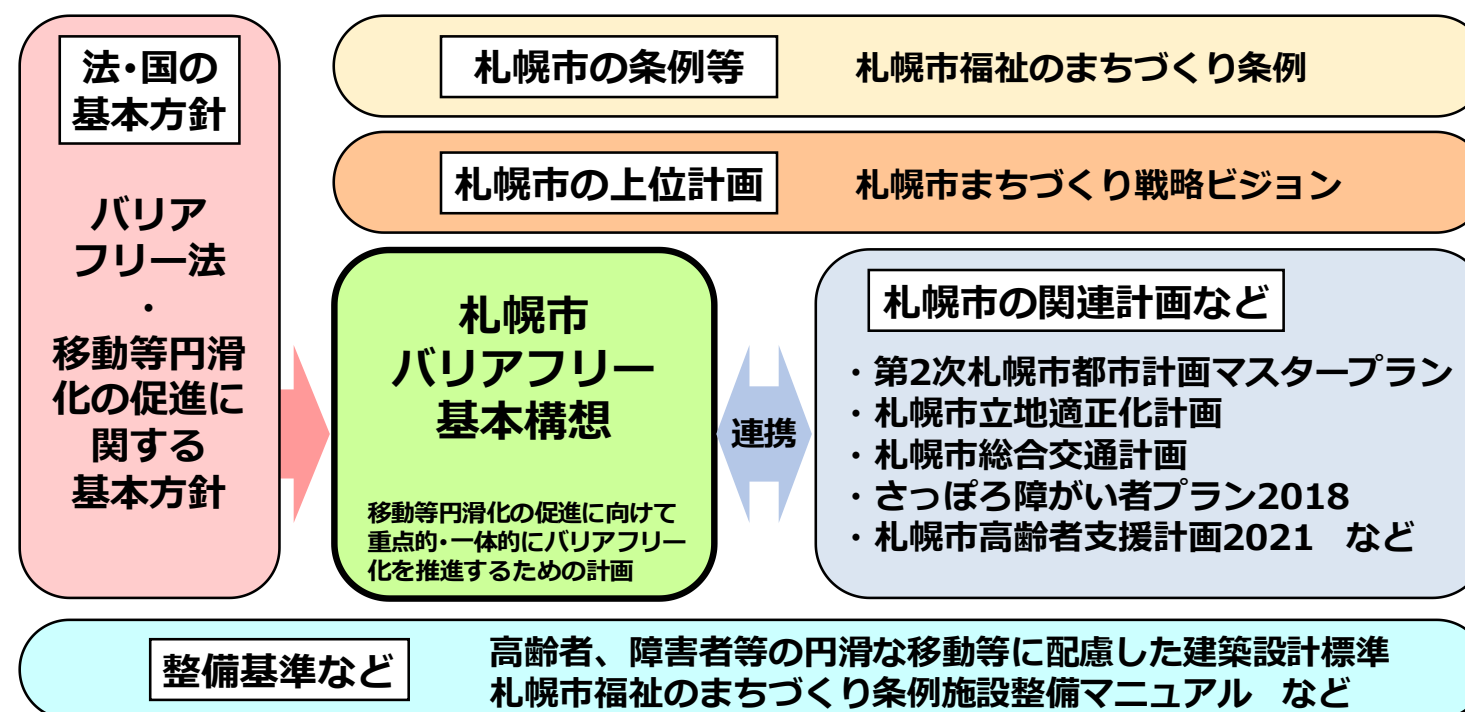
1. 背景

(1) バリアフリー法の改正

- 平成30年改正: 「**共生社会の実現**」「**社会的障壁の除去**」に留意することを明確化
- 令和2年改正 : 「**心のバリアフリー**」などのソフト対策の取組を強化

(2) 基本構想の位置づけ

- **バリアフリー法**や**国の基本方針**に基づき策定する基本計画
- **駅を中心とする地区**等における**移動等円滑化の促進**に向けて、**重点的・一体的にバリアフリー化を推進**
- 平成21年の基本構想策定から、平成27年の前回改定に次ぐ、**7年ぶり3度目の改定**



札幌市バリアフリー基本構想の位置づけ

2. 理念と基本方針

理念：お互いに思いやり支えあう
「行ける」が広がるまちづくり

【重点整備地区の移動等円滑化の基本方針】

基本方針1：生活関連施設等のバリアフリー化の推進
・連続した歩行空間ネットワークの形成

基本方針2：心のバリアフリーの推進

基本方針3：共生社会の実現に向けた
市民・施設管理者・行政の協働

3. 見直しの主なポイント

(1) 札幌市バリアフリー基本構想の定める項目

- ・高年齢者・障がい者等が利用する施設が集積する地区(重点整備地区)で、バリアフリー化を重点的・一体的に推進するために策定

・基本構想で定める主な項目

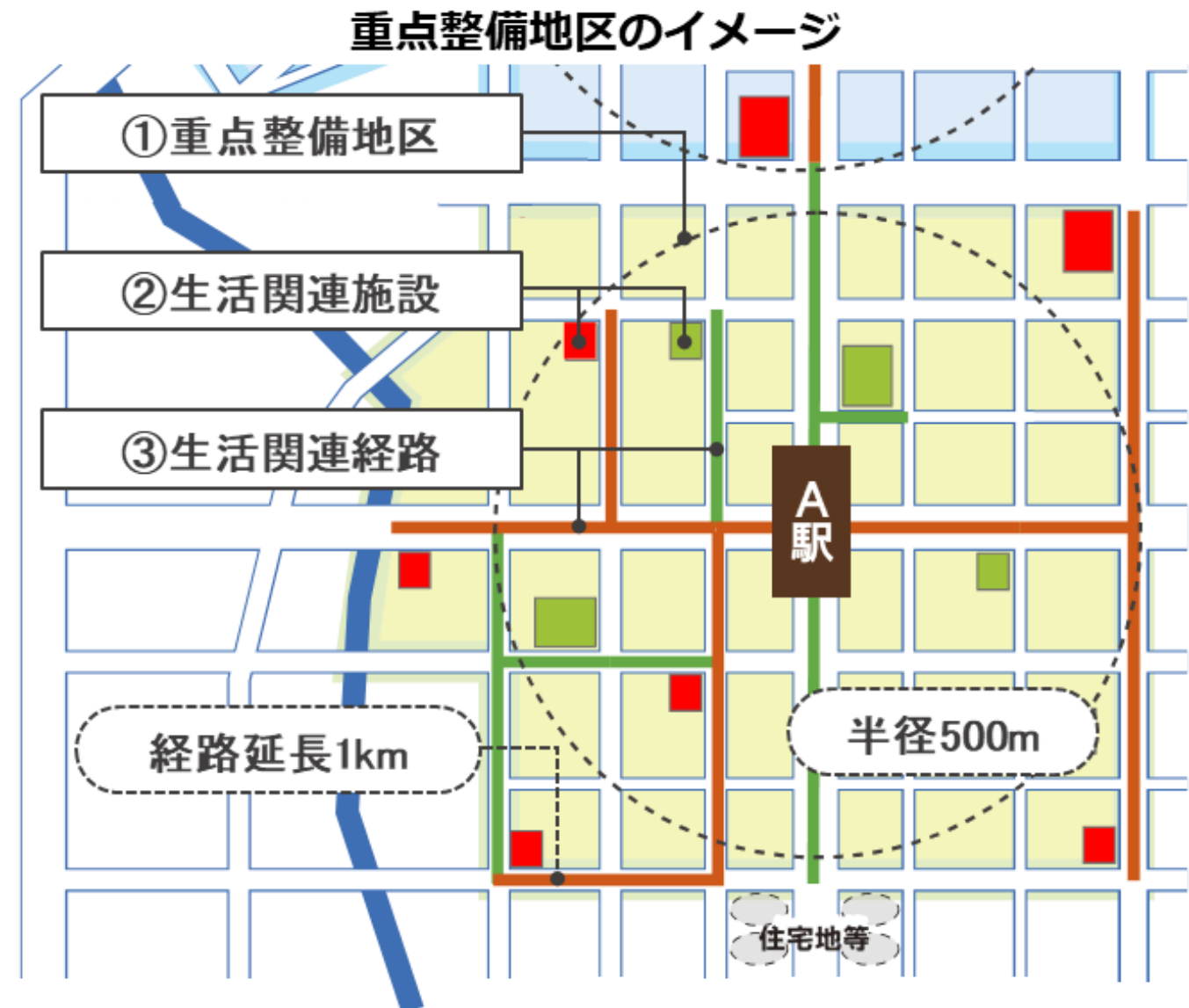
①重点整備地区の区域

②生活関連施設

旅客施設・官公庁施設・福祉施設・
病院・文化施設・商業施設・学校など

③生活関連経路

- ・駅から半径500m程度
- ・高年齢者・障がい者の利用頻度が高い施設は経路延長1km



3. 見直しの主なポイント

(2) 重点整備地区の追加・拡大

・現構想の53地区に新たに**2地区**を追加し**55地区**が対象

- 【八軒地区】…JR八軒駅利用者の増加等による追加
- 【路面電車沿線地区】…低床車両の導入や乗降場のバリアフリー化、立地適正化計画における集合型居住誘導区域の指定等による追加
- 現構想53地区…【苗穂地区】で駅北側区域を拡大したことをはじめ、地域の状況を反映し生活関連経路等を追加更新

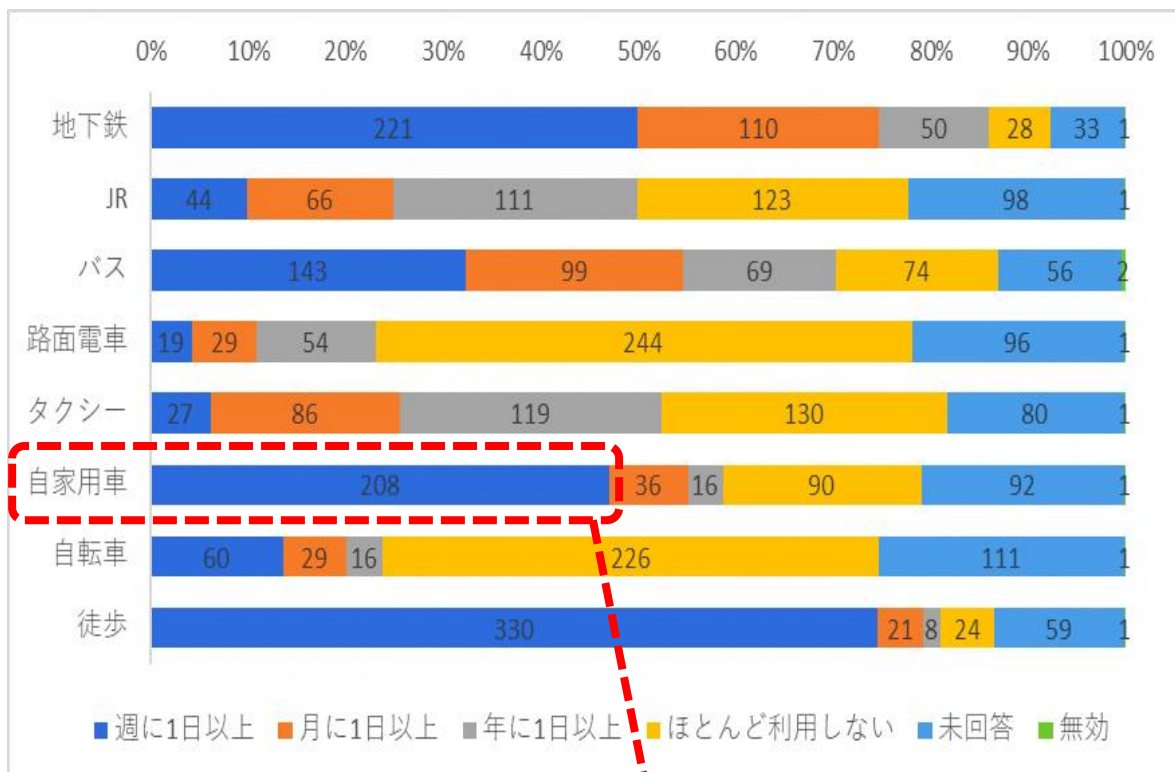


3. 見直しの主なポイント

(3)生活関連施設の対象の追加・拡大

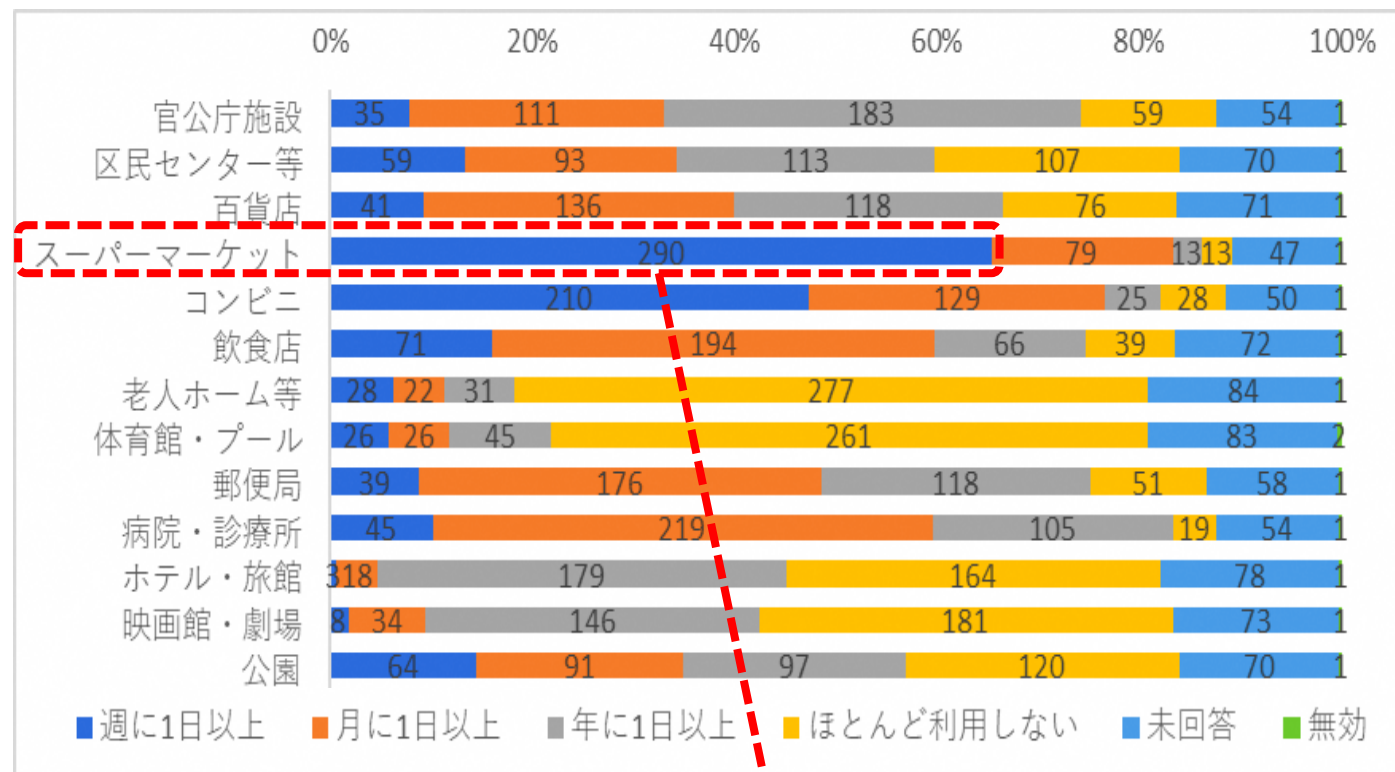
- 子育て世代 … **区保育・子育て支援センター(ちあふる)**を追加
- 身体障がい者 … **大規模な立体駐車場**を追加
- 旅行者 … **観光施設**を追加
- 小中学生・高齢者・身体障がい者 … **公立小中学校等**を追加
- 生活密着施設 … **スーパーマーケットの対象範囲**を拡大

障がい者団体に所属する市民(433名)を対象とした移動手段(平成30年調査)



自家用車の利用が約5割

障がい者団体に所属する市民(433名)を対象とした施設の利用頻度(平成30年調査)



スーパーマーケットの利用が約7割

3. 見直しの主なポイント

(4) 生活関連経路の拡大

- 生活関連施設の追加・拡大に伴い、**生活関連経路のネットワークを拡大**
- 前構想の1.24倍**に相当する約325kmを指定

生活関連経路総延長



4. 基本構想に基づく 主な取組の紹介

(1)地下鉄駅のバリアフリールート の複数化

- 全ての地下鉄駅で地上へのエレベーターを設置済み
- **複数のエレベーター設置によりバリアフリールートを充実**
- 東西線大谷地駅や新さっぽろ駅などで整備を予定

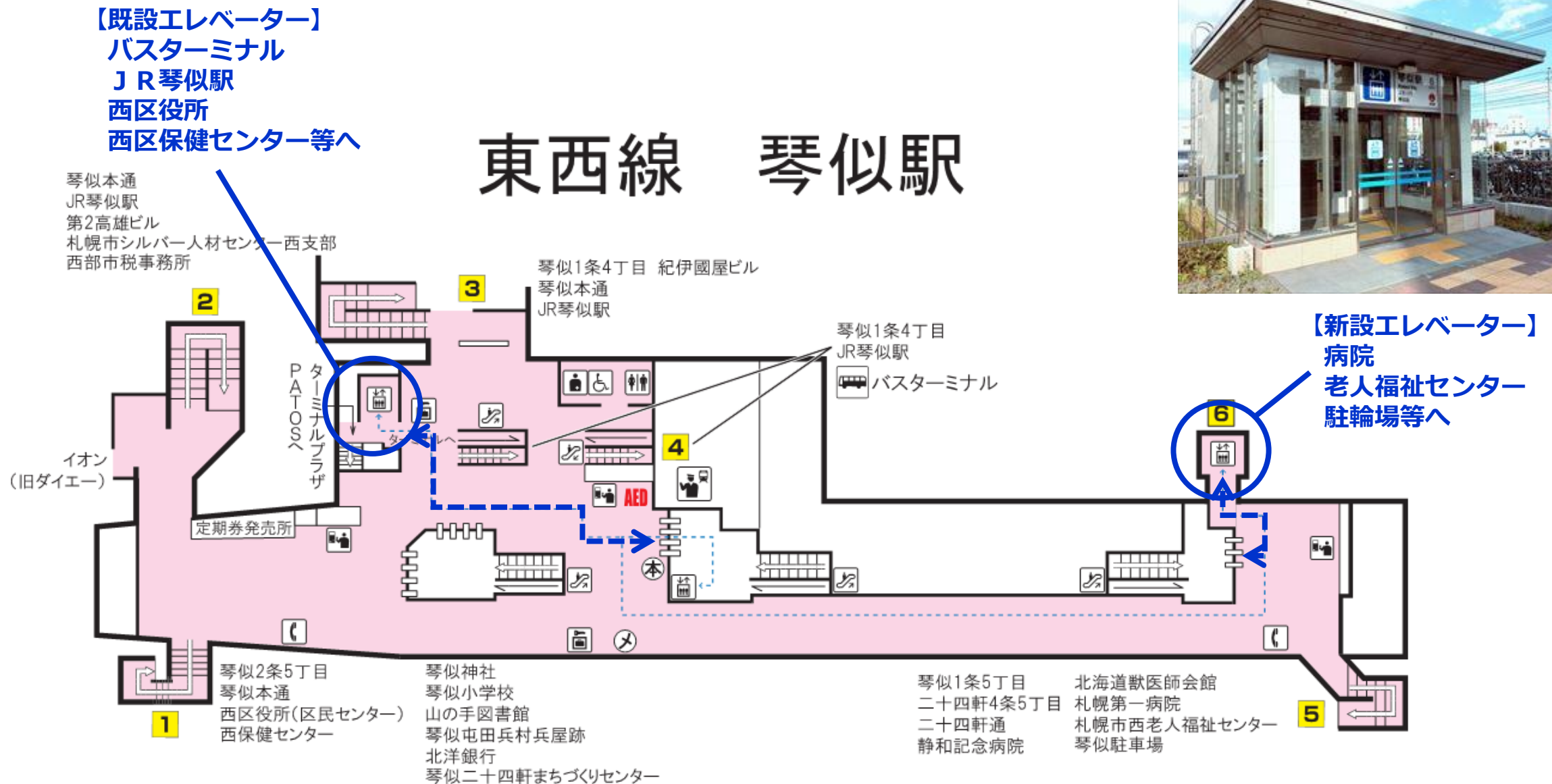


図 地下鉄琴似駅のエレベーター複数化事例

(2)地下鉄駅のトイレの改良

- 全ての地下鉄駅でバリアフリートイレを設置済み
- 一般旅客用和式トイレを洋式化
- オストメイト用設備等の機能分散を実施
- バリアフリートイレ内に**成人用ユニバーサルシート**の設置を検討



図 地下鉄大通駅のバリアフリートイレの整備事例

(3)バスターミナルのトイレのバリアフリー化

- 対象13施設のうち9施設で整備済み
- 施設改修に合わせてトイレのバリアフリー化を検討
- 円山バスターミナルなどで整備を予定



図 大谷地バスターミナルのバリアフリースイートイレ整備事例

(4)地下鉄車両の表示器のバリアフリー化

- 車両表示器の**カラーユニバーサルデザイン対応**と**多言語表示**を導入
- 南北線・東西線で引き続き導入

更新前



更新後



駅ナンバリング

多言語表示

図 地下鉄車両へのカラーユニバーサルデザイン認証表示器の設置事例

(5)路面電車・停留場のバリアフリー化

- 停留場の乗降場幅の拡幅や嵩上げ・スロープ設置の実施
- 低床車両を引き続き導入



図 乗降場のバリアフリー化事例



図 低床車両の導入

(6) 歩道のバリアフリー化

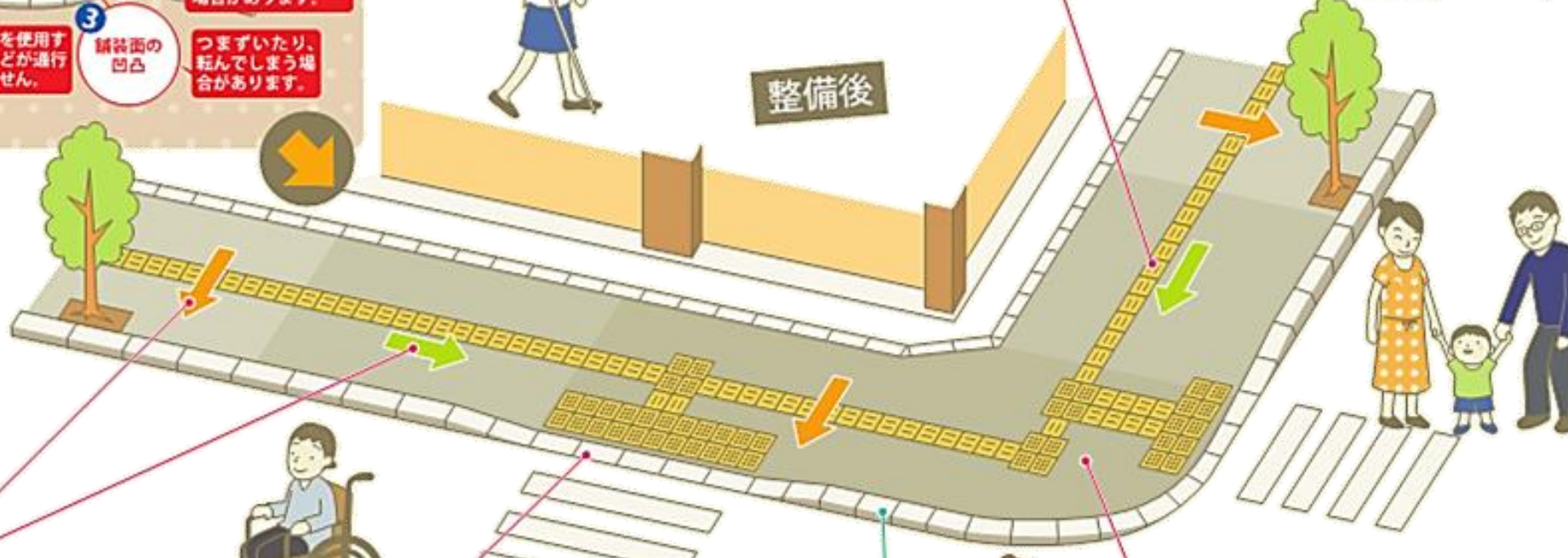


4 視覚障がい者誘導用ブロック設置

注意する場所を示す点状ブロック、歩く方向を示す線状ブロックを設置して、視覚に障がいのある方が安全に歩ける歩道を作ります。



- 歩道と車道の境界、階段の手前など注意が必要な部分に設置します。
- 公共交通機関（駅など）から障がいのある方が利用する施設まで誘導します。



1 勾配緩和

車いすを使用する方、お年寄り、その他の障がいのある方が歩きやすくなるように、歩道の勾配を緩やかにします。

→ 縦断勾配：5%以下
→ 横断勾配：2%以下

地形等によりやむを得ない場合を除きます。

断面図
 2cm
 1m
 例えば 2% の勾配とは、1m 進んで 2cm の高低差が生じる傾きです。



2 横断歩道の段差解消

横断歩道等、歩行者が通行するところでは、車道と縁石の段差を2cmにします。

車いすを使用する方の通行が可能で、視覚に障がいのある方が車道と歩道の区別を認識できる段差です。



縁石と歩道の段差

地形等によっては、最適な勾配をとるため、縁石と歩道に段差が生じる場合があります。



3 舗装面の改良

歩行中につまずいたり転んだりしないように、路面を平坦にします。特にブロック等の材料による舗装の場合は、ブロックとブロックの隙間による段差・がたつきを少なくするようにします。

(7)公園のバリアフリー化

- 園路・広場のバリアフリー化
- 駐車場のバリアフリー化
- 主要15公園のトイレを重点的にバリアフリー化



図 駐車場のバリアフリー化事例



図 園路のバリアフリー化事例



図 トイレのバリアフリー化事例

(8)小中学校のバリアフリー化

- スロープ・バリアフリートイレ・エレベーターを設置
- エレベーターは要配慮児童生徒等が在籍する学校を対象
- 令和7年度末までに重点的に実施



図 学校施設のバリアフリー改修事例

(9)小規模店舗等のバリアフリー化

- 小規模な民間公共的施設のバリアフリー改修の費用の一部を助成
- 令和3・4年度に実施
- 敷地内の段差解消・通路の拡幅・バリアフリートイレ設置などを対象

段差解消

SAPPORO

令和4年度
札幌市民間公共的施設
バリアフリー補助事業

トイレ改修

手すり設置

補助率 3/4

補助上限 150万円

窓口相談 (事前予約制) 無料

小規模店舗等のバリアフリー改修を応援します

申請期間：8月1日(月)～9月9日(金)
窓口相談：5月16日(月)～8月31日(水)

お問い合わせ
札幌市 保健福祉局 障がい保健福祉部 障がい福祉課(事業計画担当)
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 市役所本庁舎3階南 TEL: 011-211-2936
ホームページ: <https://www.city.sapporo.jp/fukushi/setsubi/hojoindex.html>



店舗入口の段差解消



手すり設置

トイレ改修

(10)ソフト施策の強化

- 市民・企業向けの心のバリアフリー研修、障がい当事者の講師派遣、ガイドブックの配布などにより心のバリアフリーを推進
- 都心部の地下ネットワークや駅・バス停等への移動における、バリアフリーに関する総合的な情報の提供方法を検討
- 障がい者等用駐車場やバリアフリートイレなどの適正利用のため、利用マナーに関する啓発活動を実施



図 市民・企業向け研修のリーフレット



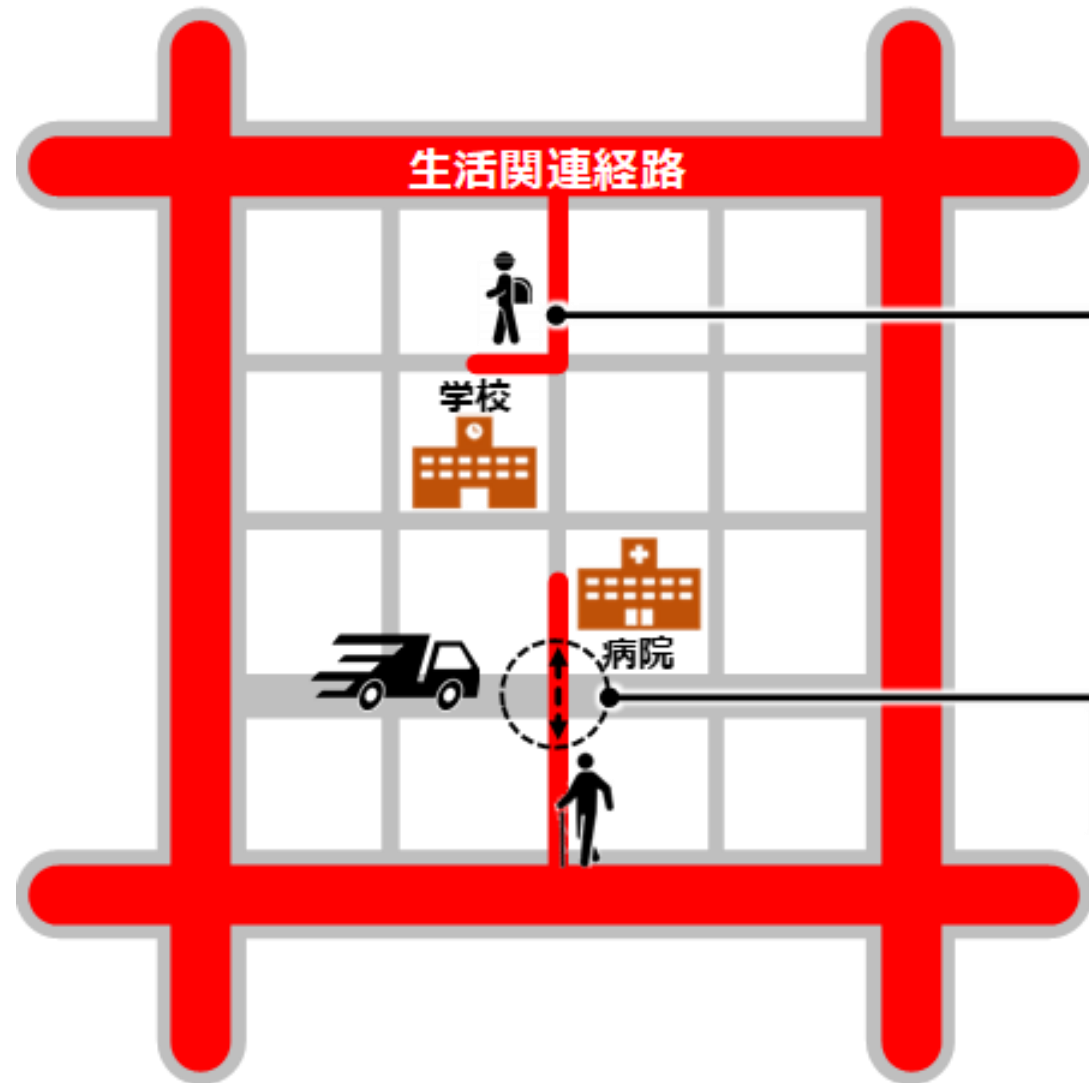
図 心のバリアフリーガイド



図 駐車場適正利用の啓発チラシ 18

(11) 狭幅員道路・非優先道路の対応

- 基本構想検討部会の委員や障がいを持った方などからご意見をいただき、**フィールドチェック(現地調査)**を実施し、バリアフリー整備が困難な**狭幅員道路等**の**対応方法**を記載



【狭幅員道路の対応】

- 可能な範囲でバリアフリー化を目指した整備を行う
- 横断部段差解消、舗装面の改良、点字ブロックなど

施設前の
点字ブロック設置の例



【非優先道路（交差点）の対応】

- 横断歩道や停止線の設置を検討
- 路面標示（交差点のカラー化、減速マーク等）の設置検討
- ドライバー・歩行者への注意喚起看板の設置など

交差点のカラー化
・減速マークの例



図 狭幅員道路・非優先道路の対応方法

5. 一体的なバリアフリー化の推進

- 各施設管理者が「特定事業計画」を作成
- 一体的な整備に向けて連携してバリアフリー化を推進

